

トンネル出入り口部の照明灯を減灯する試験的な取り組みに関する  
電気料金縮減額について（中間報告）

酒田河川国道事務所では、道路維持管理費のコスト縮減の取り組みとして、4月より管内のトンネル出入り口部に限定した道路照明灯の減灯を試験的に実施しております。

減灯による電気使用量の縮減としまして、平成22年度の4月～10月のトンネル照明電気使用量は過去5カ年（平成17年～21年度）の同期間の使用量と比較して、10%減となり、縮減額は128万円でした。

この取り組みについて、8/10より10/15まで道路利用者の方へアンケートを実施し、36件の回答をいただきました。回答では、減灯に反対の意見はあまりみられませんでした。引き続きアンケート調査を行い道路利用者の皆様の声を聞いてまいります。

今後、冬期間の縮減額や道路利用者の意見を伺いながら、試験期間中の減灯による影響を把握したうえで恒久的な対応を判断していく予定です。

当事務所では国道7号、47号、112号の維持管理について、これまでコスト縮減を図りながら適切な維持管理に努めてまいりました。しかし、公共事業の予算の縮減に伴い、道路維持管理費についても更なる削減が求められております。その一環として、管内のトンネル出入り口部に限定した道路照明灯の減灯を試験的に実施しております。

4月から10月の電気使用量は、過去5年と比較して10%に相当する106,686kWhが縮減され、縮減額は、1,280,000円でした。1年を通すと2,200,000円程度の縮減が見込まれます。

	5ヶ年平均累計	平成22年度累計	縮減量
電気量 (kWh)	1,088,241	981,555	106,686
料金 (円)	13,090,000	11,810,000	1,280,000

また、当事務所では、トンネル減灯の影響を把握する目的で、道路利用者の意見を伺うために、8/10より10/15まで、「月山情報ターミナル」「道の駅月山」「道の駅西川」に、アンケートボックスを設置し「国道112号のトンネル出入口部照明灯減灯に関するアンケート」を実施しました。

アンケート結果（回答：36件）

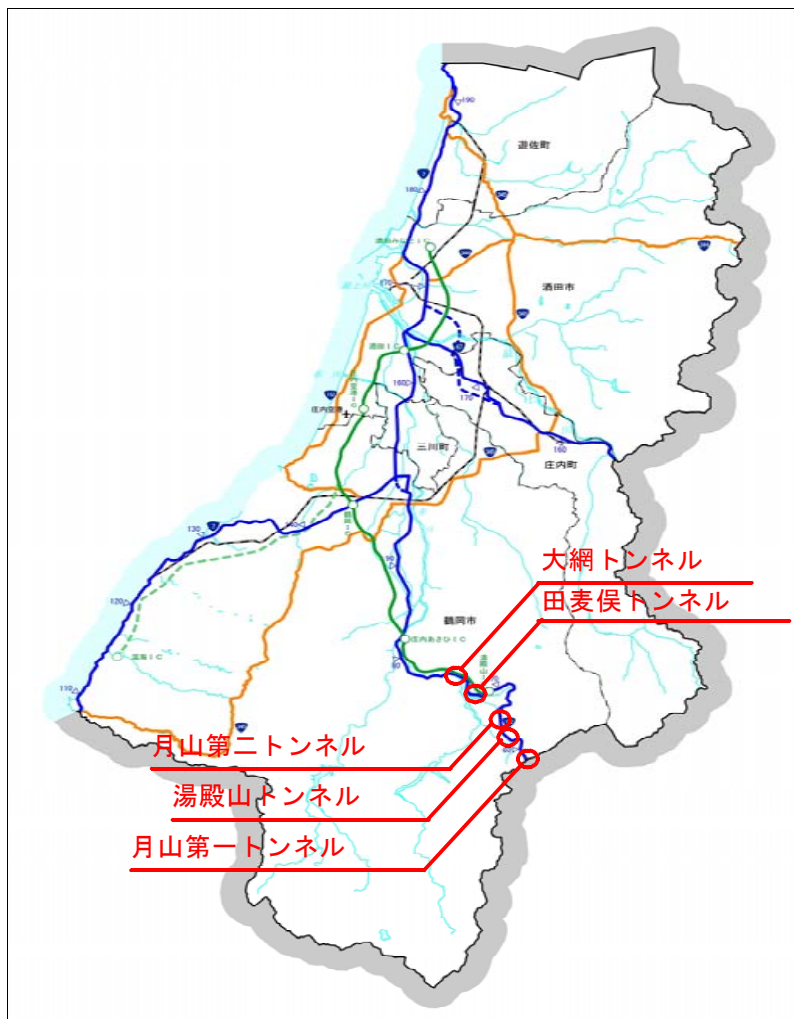
- ・「走行してみて、どのように感じましたか。」 変わらない：50% 暗い・少し暗い：28%
- ・「この取り組みについて、どう思いますか。」 良い：53% 悪い：17%

アンケートの結果より、減灯に反対の意見は少ないと考えられます。36件の回答をいただきましたが、回答数が少ないことから引き続きアンケートを行う予定です。ご協力下さい。

〈発表記者會〉県庁記者クラブ、酒田記者クラブ、鶴岡記者会

お問い合わせ先			
酒田河川国道事務所	TEL	0234-27-3331（代表）	
副所長（道路担当）	堀	喜代志（ほり きよし）	（内線205）
道路管理課長	本木	雅信（もとき まさのぶ）	（内線431）
防災課長	大入	敏夫（おおいり としお）	（内線281）

# トンネル照明灯減灯による電気料金の縮減について



## ●実施内容

トンネル坑口部における道路照明灯減灯の実施

国道112号一月山第一トンネル

一月山第二トンネル

田麦俣トンネル

大網トンネル



国道112号 湯殿山トンネル

## 別紙2 アンケート結果

